

【日の出入り・月の出入り表】

2017年 9月

提供:国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備考
	時:分	時:分	度	時:分	時:分	時:分		
1	5:55	12:21	65.1	18:47	15:20	1:03	10.4	二百十日※1 ぎょしゃ座流星群が極大
2	5:56	12:20	64.7	18:45	16:07	1:51	11.4	
3	5:56	12:20	64.3	18:44	16:51	2:43	12.4	
4	5:57	12:20	64.0	18:43	17:32	3:38	13.4	
5	5:58	12:19	63.6	18:41	18:12	4:35	14.4	海王星が衝※2
6	5:58	12:19	63.2	18:40	18:49	5:34	15.4	満月
7	5:59	12:19	62.8	18:39	19:26	6:35	16.4	白露※3
8	6:00	12:18	62.5	18:37	20:02	7:36	17.4	
9	6:00	12:18	62.1	18:36	20:40	8:38	18.4	
10	6:01	12:18	61.7	18:35	21:20	9:42	19.4	
11	6:02	12:17	61.3	18:33	22:03	10:46	20.4	
12	6:02	12:17	61.0	18:32	22:50	11:50	21.4	水星が西方最大離角※4 土星が東矩※5
13	6:03	12:17	60.6	18:31	23:42	12:54	22.4	下弦
14	6:04	12:16	60.2	18:29	--:--	13:56	23.4	
15	6:04	12:16	59.8	18:28	0:38	14:53	24.4	
16	6:05	12:16	59.4	18:27	1:39	15:46	25.4	
17	6:06	12:15	59.0	18:25	2:42	16:34	26.4	水星と火星が最接近
18	6:06	12:15	58.7	18:24	3:45	17:17	27.4	明け方東の空で細い月と金星、レグルスが接近
19	6:07	12:14	58.3	18:22	4:49	17:56	28.4	月による水星の食
20	6:08	12:14	57.9	18:21	5:50	18:33	29.4	新月 彼岸の入り
21	6:08	12:14	57.5	18:20	6:51	19:08	0.9	
22	6:09	12:13	57.1	18:18	7:49	19:42	1.9	
23	6:10	12:13	56.7	18:17	8:46	20:17	2.9	秋分の日 秋分※6
24	6:10	12:13	56.3	18:16	9:43	20:53	3.9	
25	6:11	12:12	55.9	18:14	10:37	21:31	4.9	
26	6:12	12:12	55.5	18:13	11:31	22:12	5.9	
27	6:12	12:12	55.2	18:12	12:23	22:55	6.9	
28	6:13	12:11	54.8	18:10	13:12	23:42	7.9	上弦
29	6:14	12:11	54.4	18:09	14:00	--:--	8.9	
30	6:14	12:11	54.0	18:07	14:45	0:33	9.9	

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しております。

※1 立春から数えて210日目。台風が来ることが多いといわれるが、必ずしもそうとは限らない。

※2 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり、「衝」の時最も近くなります。内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※3 二十四節季の一つ 意味:しらつゆが草に宿る。

※4 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。

※5 地球から見た外惑星と太陽とのなす角が90°になることを「矩」といい、太陽から東に90°離れるのが「東矩」、西に90°離れるのが「西矩」です。東矩のときは夕方、西矩のときは明け方南の空で見えやすくなります。

※6 二十四節季の一つ 意味:秋の彼岸の中日。昼夜の長さがほぼ等しくなる。